

## 1020 | グラフィックデザイン基礎 I

4 単位（通信授業 2 単位、面接授業 2 単位）

白尾隆太郎教授、石垣貴子講師、木多美紀子講師、深澤涼子講師、山口弘毅講師、西川陽子講師、上田和秀講師、福井政弘講師

## 授業の概要と目標

コミュニケーションのための有効な手段として発達してきたグラフィックデザインの総合的な基礎概念を把握し、その目的とさまざまな方法論を考察する。ここでは、「見ること」「伝えること」という具体的な事例を探求しながら、印刷メディアの登場から現在のマルチメディアに至る流れを学習する。特にグラフィックデザインを「自ら学ぶ」という姿勢と、見ること、観察することに重きを置き、科学的な理解のうえでの視覚的習熟を目的とする。

## 課題の概要

## ○通信授業課題 1 色・形・構成 1「オリジナル・パレット」

身近なところからさまざまな素材を色として採集。集めた物質としての色を基に、色を再現し、その関係性と構成を考える。

## ○通信授業課題 2 色・形・構成 2「動物園に行こう」

架空の動物園を想定してバナー等のデザインをする。動物の形態や色彩構成を考える。

## ○面接授業課題

## ・ピクトグラム [歩く・走る・跳ぶ]

講義とワークショップを通して、「ことばによる伝達」と「見ることによる伝達」の差異を把握する。学習のポイントは視覚的伝達を他者と「共有」することである。

## ①P オンラインプラス [結果]—BBS 上での面接授業振り返り

Web キャンパス学生メニューの【ネットフォーラム】にて完成作品をアップロードし相互評価を行う。

## ・コンピュータ表現 [蝶課題]

アイデアを画像にするという課題を通して、コンピュータによる表現を学習する。

## ①P オンラインプラス [準備]—面接授業事前説明動画配信

Web キャンパス学生メニューの【動画視聴】にて面接授業の事前説明動画を配信する。

\*課題については学習指導書『グラフィックデザイン基礎 I・II 平成 29 年度』を必ず参照すること。

## 授業計画

教科書及び学習指導書による。

## [通信授業]

「オリジナル・パレット」と「色と文字の構成」の制作。

## [面接授業]

講義及び、ピクトグラム、コンピュータグラフィックスの制作。

## [通信授業]

動物園のバナー・コースターのデザイン制作。

## 成績評価の方法

[通信授業] 通信授業では、提出作品の総合評価とする。

[面接授業] 面接授業では、制作プロセス、全体講評と作品の総合評価とする。

---

履修条件及び履修年次	<p>[履修年次] 1年次</p> <p>[履修条件] なし</p> <p>[備 考] デザイン情報学科コミュニケーションデザインコース指定科目。</p> <p>コミュニケーションデザインコースへの進学希望者は、1年次に履修すること（2年次編入学生は2年次）。コミュニケーションデザインコース3年次編入学生は必修ではないが、履修することが望ましい。</p> <p>スクーリングではコンピュータ（Macintosh）、グラフィック系ソフト（Adobe Illustrator、Photoshop）を使用する。</p> <p>初めて、もしくは基礎をもう一度確実にしたい場合は「コンピュータリテラシーⅢ」を先に受講することが望ましい。</p> <p>スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある（コミュニケーションデザインコース進学希望者を除く）。</p> <p>オンラインプラス（Webで行う面接授業補助プログラム）を受講する場合は、インターネットに接続できる環境が必要となる。</p>
教材等	<p>教科書：白尾隆太郎監修『graphic elements グラフィックデザインの基礎課題』 （武蔵野美術大学出版局 2015年）</p> <p>『PCCS ハーモニックカラーチャート 201-L』（日本色研）</p> <p>学習指導書：『グラフィックデザイン基礎Ⅰ・Ⅱ 平成29年度』 （武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）</p>